

# SEAN リレーエッセイ

SEAN会員のみなさんに、お願いしているリレーエッセーです。  
最近の関心ごと、SEANとの関わりへの思いなどなど。  
会員間のつながりになればと願っています。

## 定額給付金 2兆円への疑問

鳥取県議会議員 尾崎かおる

「税金の無駄使いだ。2兆円もあれば雇用対策や福祉の支援ができる」、「生活支援だ。高額所得者がもらうのはさもない」、「いや経済効果を狙うのだからもらって使うべき」、などなど、議論を巻き起こした定額給付金。国民ひとりひとりに120000円（高齢者、未成年は20000円）の給付金、皆さんはどう受けとめられたでしょうか？ここ数ヶ月間、マスコミを賑わすのは新型インフルエンザ、衆議院解散で、定額給付金の是非の議論はどこへやら、喉元過ぎれば・・・です。2兆円も使い、全国各市町村の職員をてんでこ舞いさせました。そのコストを考えると2兆円をはるかに超える金額が総選挙の直前に使われたことになりました。

私たちはもう一度、昨年の議論を思い起こし、この給付金の是非を検証してはいけないと思えます。小泉構造改革の「社会保障費を毎年2200億円削減」の至上命令のもと、主に切り捨てられていったのは、「自立促進」の名のもと、障がい者、高齢者、母子家庭など社会的弱者への支援です。

この5年間で弱者を絞るようにして削減した1兆円。一方で定額給付金2兆円はあつという間に使われまじった。この矛盾をどう考えるのか？さらに補正予算ではエコ対策としてハイブリット車プリウス、インサイトの購入に100%減税措置をする（13年以上使用の車買い替えなら+13万円補助）などの措置を含む補正予算に財界は「大変満足」と礼賛しました。エコ対策に反対はしませんが、施策の方向と優先順位が違う！と言いたい。今の方向は「環境政策」というより、環境をたてに取った「便乗業界支援」に映ります。本気で「エコ」を目指すならむしろ物を買え買えと言うより「本物を長く大切に使う」方向に政策を示すべきだと思えます。「直すより買う方が安いですよ！」との殺し文句はもはや過去のものにするのがまつとうな施策です。

2兆円あれば国民が将来真に豊かさを実感できる分野に使えます。ジェンダーの視点に立った施策にお金をもっとかけられるはず。例えばシニア世代に短時間勤務者の補助をもらい、子育て中の

男女が過重労働にならないような支援をする、女性に多い非正規雇用において労働時間以外は正規雇用と同等の権利が与えられる様に企業を誘導し、そのための初期投資に助成するなどできます。これらは北欧ではすでに取り入れられています。

また、不登校、発達障がい、安全確保対応などで多忙を極める教育現場のスタッフ増、医療現場・介護現場のスタッフの労働環境の大幅改善、文化芸術活動への支援、科学技術研究への助成（例えば、新型インフルエンザ万能ワクチン開発にも！）などなど。

国民の懐をわずかにかすめただけで消えていく2兆円。それもホームレスの人たちやネット難民といわれる住所がなく、しかも給付金を本当に必要とした人たちには届いたのか？と疑問に思っています。

予算の優先順位はこうだ、と声を出すのは今です。選挙で意思表示が出来ます。選挙でこれらのことも吟味し、判断の材料にしたいものです。